

化 学

教 授 永 田 正 典
助 教 授 広 上 俊 一
教 務 員 角 田 広 子

◆ 研究概要

永田正典：含窒素ステロイド誘導体の合成研究：種々のジアザステロイド誘導体を合成し、薬理作用の検討を目的として研究している。

広上俊一：4-ピリミジノン誘導体の光化学反応4-ピリミジノン誘導体の光化学反応より生成したデュワーピリミジノン誘導体を分離し、その反応性とアルコール中での加溶媒反応の反応速度の測定を行っている。

角田広子：環上エノールエーテルのシクロプロパン化増炭反応に関する研究

生 物 学

教 授 菅 野 延 彦
教 務 員 日 比 野 康 英

◆ 著 書

1) 日比野康英：インターフェロンレセプターファミリー。「サイトカインレセプター」宮坂昌之、田中稔之編、82-93、メジカルビュー社、東京、1992。

◆ 原 著

1) Hibino Y., Kumar C.S., Mariano T.M., Lai D. and Pestka S.: Chimeric interferon- γ receptors demonstrate that an accessory factor required for activity interacts with the extracellular domain. *J. Biol. Chem.* 267: 3741-3749, 1992.

2) Hibino Y., Nakamura K., Asano S. and Sugano N.: Affinity of a highly repetitive bent DNA for nuclear scaffold proteins from rat liver. *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 184: 853-858, 1992.

3) Tabata T., Watanabe W., Horita K., Kamegai J., Moriyama S., Hibino Y., Ohashi Y. and Sugano N.: Mitogenic activities of heteroglycan and heteroglycan-protein fractions from culture medium of *Lentinus edodes* mycelia. *Immunopharmacology* 24: 57-64, 1992.

4) Hibino Y., Nomura Y., Iwakami N. and Sugano N.: Action of a nuclease from rat nuclei on UV-

irradiated DNA. *Biochem. Int.* 28: 121-127, 1992.

◆ 学会報告

1) 野村 裕, 日比野康英, 菅野延彦：ラット肝細胞核内に存在するMg²⁺-依存性ヌクレアーゼのUV損傷DNAに対する作用, 第10回日本生化学会北陸支部例会, 1992, 5, 福井。

2) 日比野康英, 塚田修市, 中村公一, 菅野延彦：細胞核scaffold(足場)蛋白質とこれに親和性を示す高度反復配列湾曲DNA. 第86回日本薬学会北陸支部例会, 1992, 7, 金沢。

3) 田畑智之, 日比野康英, 大橋康宏, 菅野延彦：植物性多糖蛋白質画分LAP1とその多糖画分LAF1のミトジェン活性とインターフェロンの誘導. 第51回日本癌学会総会, 1992, 9, 大阪。

4) 日比野康英, 塚田修市, 中村公一, 菅野延彦：高度反復配列湾曲DNAとこれに親和性を示す細胞核scaffold蛋白質. 第65回日本生化学会大会, 1992, 10, 福岡。

5) 野村 裕, 日比野康英, 菅野延彦：ラット肝クロマチンに存在するMg²⁺-依存性ヌクレアーゼの紫外線損傷DNAに対する作用. 第65回日本生化学会大会. 1992, 10, 福岡。

6) Lai D., Zhu X., Isotova L., Mariano T.M., Hibino Y. and Pestka S.: Expression, purification and refolding of the extracellular domain of the murine gamma interferon receptor. *International Society for Interferon Research*, 1992, 11, Toronto.

7) 田畑智之, 小西良武, 小池淳平, 日比野康英, 菅野延彦：植物性多糖蛋白質画分(LAP1)によるミトジェン活性とIFN- γ およびその受容体の誘導. 第87回日本薬学会北陸支部例会, 1992, 11, 富山。

英 語

教 授 藤 本 正 文
講 師 松 倉 茂
外国人講師 ジリアン・S・ケイ

◆ 研究概要

藤本：1) Edgar Poeの批評作品について。

2) 現代英語の語法について。

松倉：意味論(語用論を含む):時間表現・空間表

現の意味構造の分析

Kay : Professionalism. Vocabulary. English Language Teaching Methods.

◆ 著 書

- 1) Kay G.: Gairaigo. In The Oxford Companion to the English Language, by McArthur T. (Ed.) 427-428, Oxford University Press, Oxford, 1992.
- 2) Kay G.: Japan. In The Oxford Companion to the English Language, by McArthur T. (Ed.) 540-543, Oxford University Press, Oxford, 1992.

◆ 原 著

- 1) 藤本正文：名詞の概念を限定する接続詞節のAs—その英和辞典の記述。富山医科薬科大学一般教育研究紀要 14: 1-10, 1992.
- 2) 藤本正文：(書評) 辻元一郎「ポーの短篇論研究」英文学研究 68巻2号: 360-364, 1992.

◆ 学会報告

- 1) Kay G.: Role of Foreign Teachers in Japanese Universities. 18th Annual International Conference of Language Teaching and Learning, 1992, 11, Kawagoe.

日本語・日本事情

助 教 授 大 星 光 史

◆ 研究概要

日本文芸・詩歌関係及び日本文学と老荘神仙思想

◆ 著 書

- 1) 大星光史：作歌上達のための「送りがな」の使い方、動詞の場合。「短歌」, 87, 角川, 東京, 1992.
- 2) 大星光史：會津八一と奈良の古きほとけたち。「短歌」, 96-99, 角川, 東京, 1992.
- 3) 大星光史：相馬御風と老荘神仙思想(一)。「四季」, 32-35, 四季会, 東京, 1992.
- 4) 大星光史：相馬御風と老荘神仙思想(二)。「四季」, 44-47, 四季会, 東京, 1992.
- 5) 大星光史：相馬御風と老荘神仙思想(三)。「四季」, 42-45, 四季会, 東京, 1992.
- 6) 大星光史：相馬御風と老荘神仙思想(四)。「四季」, 38-41, 四季会, 東京, 1992.

保 健 体 育

助 教 授 小 野 寺 孝 一

◆ 原 著

- 1) 山地啓司, 金子龍一, 老月敏彦, 小野寺孝一：学校体育における主観的運動強度(RPE)の応用の可能性に関する研究。富山大学教育実践研究指導センター紀要 9号, 27-38, 1992.

◆ 学会報告

- 1) 小野寺孝一：Bioelectrical Impedanceを用いた身体組成の推定法の検討。第47回日本体力医学会, 体力科学, 41巻, 6号, 863, 1992, 9, 山形.
- 2) 三辺忠雄, 滝上節子, 加藤則子, 最上智行, 村井貞子, 吉崎 亨, 小野寺孝一：皮下脂肪厚による肥満の判定基準の検討。第14回日本健康増進学会, 1992, 11, 浦和.